

今の皆さんには大事なこと

東京の地下鉄の運転士三十九名が、新型コロナウイルスに感染しました。いわゆる集団感染です。そのため昨年の十二月二十七日から今月十一日まで、運行本数を通常の七割程度に減らして運行していました。

生徒のみなさん、おかしいと思いませんか。運転士は電車の先頭で一人だけ隔離されたスペースで運転していますよね。車掌（しゃしょう）ならともかく、運転士は客と接することもないですからね。しかし、感染したのは運転士ばかり。どこで感染したのでしょうか。どうやら、運転士だけに共通する感染ルートがあったようです。

始発の電車を運転する場合、運転士は前日から宿泊施設に泊まり込みます。部屋は個室、シーツ類も毎日取り換えるそうで、感染予防のために十分な配慮がなされています。

しかし、盲点がありました。どうやら、共同で使っている庁舎の洗面所の蛇口（じゃぐち）が原因のようです。保健所は「歯磨きの際の唾液が付着した手で蛇口を触れたことにより、感染が広まった可能性が高い」という見解を示しました。

歯磨きは悪いことではありません。口をすすぐ水を出すために蛇口をひねるのは当たり前です。こう考えると、だれが悪いとか、だれがウイルスを蛇口に付けたかとか、突き詰めても意味がありません。感染者の中には、自分が知らぬ間に感染していたという人がいます。その人がいつものように生活していたら、結局そこから二人目三人目と感染者が増えていくのです。

二回目の緊急事態宣言が出されました。一回目の時よりも、新型コロナウイルスははるかに私たちの身近に迫っています。これまで家族のだれかが濃厚接触者になったり、念のためにPCR検査を受けることになったりして、ドキドキした仲間が北中にもいます。幸いなことに、全て陰性と判明していますので大事には至っていないわけですが、これからはどうなるかわかりません。

中学生の生活を見てみると、部活動やクラブの自粛中には、学校と家庭の往復、塾や習いごとへの通いぐらいの移動が中心になります。安心はできませんが、感染防止策を徹底していれば、そんなに恐れる必要はないと思います。

しかし、大人は違います。仕事でいろいろな方と接します。移動距離も中学生と比べものになりません。家族を疑うようできいですが、「感染するしたら大人から」という可能性が大それた上、今後のあなたの行動を決めてください。

今日は面白みに欠ける内容になってしまいました。しかし、今の皆さんには大事なと受け止めてください。

（一月十五日 記）